



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場会社名 大石産業株式会社

上場取引所 東福

コード番号 3943 URL <https://www.osk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 博章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大谷 洋文

TEL 093-661-6511

配当支払開始予定日 一

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 17,649	% △0.8	百万円 605	% △23.5	百万円 816	% △18.2	百万円 482	% △41.0
2025年3月期第3四半期	17,792	7.4	792	△5.1	998	△2.3	817	3.6

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 692百万円 (△29.1%) 2025年3月期第3四半期 976百万円 (△6.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 61.56	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	105.18	—

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 26,814	百万円 18,992	% 70.6
2025年3月期	26,692	18,724	69.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 18,929百万円 2025年3月期 18,660百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期 分割後換算 (分割前換算)	円 銭 —	円 銭 32.00	円 銭 —	円 銭 35.00 (70.00)	円 銭 — (102.00)
2026年3月期 分割後換算 (分割前換算)	—	26.00 (52.00)	—		
2026年3月期 予想/分割後換算 (予想/分割前換算)				26.00 (52.00)	52.00 (104.00)

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期第2四半期末については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

2025年3月期(分割後換算)期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 創業100周年記念配当 15円00銭  
株式分割を考慮しない場合の2025年3月期の期末配当金は70円00銭、年間配当金は102円00銭となります。

2025年3月期(分割前換算)期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 創業100周年記念配当 30円00銭

2025年3月期(分割前換算)年間配当金の内訳 普通配当 72円00銭 創業100周年記念配当 30円00銭  
株式分割を考慮しない場合の2026年3月期の第2四半期末配当金は52円00銭となります。

株式分割を考慮しない場合の2026年3月期(予想)の期末配当金は52円00銭、年間配当金は104円00銭となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	
通期	百万円 24,232	% 3.2	百万円 901	% △0.4	百万円 1,134	% 0.3	百万円 792	% △16.2	円 銭 101.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期3Q	9,328,000株	2025年3月期	9,328,000株
2026年3月期3Q	1,483,657株	2025年3月期	1,538,936株
2026年3月期3Q	7,832,478株	2025年3月期3Q	7,767,729株

(注) 1. 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。  
 2. 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行（信託口）の保有する当社株式（2026年3月期3Q 98,197株、2025年3月期 115,970株）が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2026年3月期3Q 106,914株、2025年3月期3Q 137,335株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結損益計算書に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、日経平均株価の最高値更新に見られるように、政府の積極財政への期待が高まりました。また、雇用・所得環境の改善に加え、設備投資にも持ち直しの動きが見られ、全体としては緩やかな回復基調が継続しました。一方で、物価上昇による消費者心理への影響や米国の通商政策の国内産業への影響の懸念、更には中国経済の鈍化を背景とした、中国から域内諸国への低価格製品流入の影響など、先行き不安は依然として残されています。

こうした経営環境の中、当社グループは2024年11月に新たなグループビジョン「パーカス（存在意義）：未来を包む - Inclusion for Future -」、「ビジョン（あるべき姿）：循環型社会に最適解を提供する」、「バリュー（価値基準）：誠実、挑戦、協創」を策定し、2025年4月には創業100周年を迎えました。次の100年を見据え、これまで以上に顧客満足を追求するとともに、全社的なイノベーション活動を推進し、業績の向上に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、パルプモウルド製品、国内重包装袋製品および段ボール製品の販売数量増および販売価格の見直し効果があったものの、海外重包装袋製品およびフィルム製品の販売数量減により、176億49百万円（前年同期比0.8%減）と減収となりました。利益面につきましては、減収の影響およびマレーシア国における日本産農産物等の輸入販売事業の初期立ち上げによる損失もあり、営業利益は6億5百万円（前年同期比23.5%減）、経常利益は8億16百万円（前年同期比18.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億82百万円（前年同期比41.0%減）と減益となりました。また、前第3四半期連結累計期間では受取損害保険金として特別利益を計上していたため、親会社株主に帰属する四半期純利益の減少幅が、営業利益、経常利益と比較して大きくなっています。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (緩衝機能材事業)

パルプモウルド部門は、鶏卵用トレーでは鳥インフルエンザによって減少していた羽数が回復し需要増となったこと、工業用トレーでは持ち帰りドリンク用トレーが堅調に推移したことおよび販売価格の修正により増収となり、パルプモウルド部門の売上高は52億12百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

段ボール部門は、工業分野向け、農業分野向けとともに増販となったことおよび販売価格の修正により、売上高は26億65百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

成型部門は、売上高は樹脂成型品と宙吊り式包装容器（ゆりかご）をあわせて8億50百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

その結果、当事業の売上高は87億28百万円（前年同期比4.2%増）となり、セグメント利益は9億26百万円（前年同期比36.8%増）となりました。増益の主な要因は、販売数量の増加と販売価格の修正等によるものであります。

#### (包装機能材事業)

フィルム部門は、食品容器用ポリスチレンフィルムと自動車向けキャストフィルムの販売数量の減少および原料市況の下落に伴う販売単価の低下により売上高は33億67百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

重包装袋部門は、国内では、主に合成樹脂向け、飼料向けの販売数量が伸長し、また、販売価格の修正効果もあり増収となりました。海外では、食品向け、飼料向けは増販となりましたが、合成樹脂向け、化学薬品向けが需要減となり減収となりました。これにより、重包装袋部門の売上高は国内・海外を合わせて、52億1百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

その結果、当事業の売上高は85億68百万円（前年同期比6.0%減）となり、セグメント利益は4億93百万円（前年同期比34.9%減）となりました。減益の主な要因は、海外重包装袋部門、フィルム部門の減収および減価償却費の増加によるものであります。

#### (その他)

売上高は3億52百万円（前年同期比17.0%増）となりましたが、マレーシア国における日本産農産物等の輸入販売事業の初期立ち上げによる損失もあり、セグメント損失は28百万円（前年同期は28百万円のセグメント利益）となりました。

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、デザイン関連事業、不動産賃貸事業、マレーシア国における日本産農産物等の輸入販売事業等を含んでおります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1億22百万円増加し、268億14百万円となりました。

流動資産については、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末に比べて11億34百万円減少しております。固定資産については、その他の有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べて12億56百万円増加しております。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は78億22百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億45百万円の減少となりました。流動負債については、未払法人税等、賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べて1億52百万円減少しております。固定負債については、退職給付に係る負債、その他の固定負債の増加等により、前連結会計年度末に比べて6百万円増加しております。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は189億92百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億67百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の見通しにつきましては、2025年5月9日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,441	6,049
受取手形、売掛金及び契約資産	3,740	4,212
電子記録債権	1,254	1,274
商品及び製品	1,210	1,267
仕掛品	185	185
原材料及び貯蔵品	1,412	1,184
その他	278	217
貸倒引当金	△16	△18
流動資産合計	15,506	14,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,312	3,379
機械装置及び運搬具（純額）	3,070	3,023
その他（純額）	2,531	3,611
有形固定資産合計	8,914	10,014
無形固定資産	213	202
投資その他の資産		
投資有価証券	1,528	1,826
その他	529	399
貸倒引当金	△0	△1
投資その他の資産合計	2,057	2,225
固定資産合計	11,185	12,442
資産合計	26,692	26,814

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,729	1,749
電子記録債務	2,104	1,969
短期借入金	525	422
未払法人税等	179	22
賞与引当金	301	152
その他	1,470	1,840
流動負債合計	6,310	6,157
<b>固定負債</b>		
役員株式給付引当金	31	24
退職給付に係る負債	1,219	1,226
その他	407	414
固定負債合計	1,657	1,664
<b>負債合計</b>	<b>7,968</b>	<b>7,822</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	466	466
資本剰余金	416	435
利益剰余金	17,973	17,972
自己株式	△998	△959
株主資本合計	17,858	17,915
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	574	776
為替換算調整勘定	99	109
退職給付に係る調整累計額	128	127
その他の包括利益累計額合計	802	1,013
<b>非支配株主持分</b>	<b>64</b>	<b>63</b>
<b>純資産合計</b>	<b>18,724</b>	<b>18,992</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>26,692</b>	<b>26,814</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	17,792	17,649
売上原価	14,456	14,259
売上総利益	3,335	3,390
販売費及び一般管理費	2,543	2,784
営業利益	792	605
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	40	47
受取賃貸料	142	142
為替差益	14	14
その他	39	35
営業外収益合計	242	244
営業外費用		
支払利息	14	13
不動産賃貸費用	11	10
その他	9	9
営業外費用合計	35	33
経常利益	998	816
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取損害保険金	173	—
特別利益合計	173	0
特別損失		
固定資産除却損	12	78
特別損失合計	12	78
税金等調整前四半期純利益	1,159	739
法人税、住民税及び事業税	270	211
法人税等調整額	69	47
法人税等合計	340	258
四半期純利益	819	480
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	817	482

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	819	480
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	202
為替換算調整勘定	215	10
退職給付に係る調整額	4	△1
その他の包括利益合計	157	211
四半期包括利益	976	692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	967	693
非支配株主に係る四半期包括利益	9	△0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (四半期連結損益計算書に関する注記)

受取損害保険金 :

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

2023年3月6日に当社の八戸工場において発生した火災にかかる受取損害保険金を特別利益として計上しております。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	715百万円	869百万円
のれんの償却額	3百万円	一百万円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	緩衝機能材 事業	包装機能材 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,372	9,119	17,491	301	17,792	—	17,792
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	4	18	167	185	△185	—
計	8,386	9,123	17,510	468	17,978	△185	17,792
セグメント利益	677	757	1,434	28	1,463	△671	792

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、デザイン関連事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△671百万円には、主にセグメント間取引消去△12百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△678百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	緩衝機能材 事業	包装機能材 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,728	8,568	17,297	352	17,649	—	17,649
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	3	17	167	185	△185	—
計	8,742	8,572	17,314	519	17,834	△185	17,649
セグメント利益又は損失 (△)	926	493	1,420	△28	1,391	△786	605

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、デザイン関連事業、不動産賃貸事業、マレーシア国における日本産農産物等の輸入販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△786百万円には、主にセグメント間取引消去△10百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△793百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。